



市民病院をもっと便利に

市民病院

Q 市民病院駐車場の混雑解消の計画は？クレジットカードでの支払いはいつから可能？

A 50台程度駐車スペース増、カード払いは秋から

慢性的な混雑解消のため、9月中を目途に50台程度の駐車スペースの確保を検討中です。(市長)

入院診療費や人間ドック検診料、救急外来受診料などに対応したクレジットカードによる支払いが秋から利用できるよう準備をすすめています。(病院副事業管理者)



平野 智子議員
(公明党)

「子育てするならゼッタイ三田」

子育て

Q 「赤ちゃんの駅」事業をどうPR？乳幼児医療の通院助成を中学3年生まで拡大する見通しは？(平野議員)

A 「赤ちゃんの駅」をPR、乳幼児医療拡充は国・県にも要望
市の広報紙やホームページでお知らせするとともに、ロゴマークを作成し登録施設の入口などに掲示していただく予定です。(健康福祉部長)

乳幼児医療の通院助成枠の拡大は国の制度として創設されるべき重要な課題であるため、国・県に要望しています。私は義務教育就学児の中学生までを対象にすることが本来の姿だと考えています。中学3年生までの通院助成も視野に入れながら国の動向や、本市の財政見通しを勘案し検討します。(市長)

他の質問 財政健全化／障がい者の就労支援

市長の退職金は？

市長

Q 4年任期毎の退職金の額は、市民感覚とズレがあります。見直すべきでは？

A 県下でも下位の位置づけです

市長の退職金は、4年間の在職に対して、その勤続を報償するものです。その金額は、給料月額に兵庫県市町村職員退職手当組合の規定による月数を乗じて算出します。本市では、行政改革により市長の給与を20%カットしており、給料月額、退職金ともに県下29市の中でも下位から6番目の低さとなっています。(総務部長)



中田 初美議員
(日本共産党)

待機児童の解消を

子育て

Q 依然として減らない待機児童の原因分析と保育所との保育料差額補てんなどが必要では？(中田議員)

A PR強化と保護者負担軽減に努力

市内の認定子ども園4園は、定員60名に対し24名の入園にとどまっています。新たな制度のさらなるPRの強化と保護者負担の軽減に向けた助成について制度の設計をすすめます。(市長)

他の質問 太陽光発電・雨水貯留タンク補助／スクールソーシャルワーカー／駅前再開発Bブロック

消防体制は大丈夫？

防災

Q 国基準の半分しかない消防署職員の増員が必要では？

A 5か年を目途に適正配置

国の「消防力の整備指針」による基準数値を満たしている消防本部は皆無であり、他市と同様に人口1000人に1人の消防署職員配置を目標としています。新行政改革プランにおいても消防職員は削減対象から除外し、隣接する自治体との相互応援体制の強化など704名の消防団員とともに限られた人員で円滑な消防業務が図れるよう努めています。具体的には5か年を目途に適正な職員配置を行います。(市長)

他の質問 健康診断の改善



長谷川 美樹議員
(日本共産党)

無料化しては？

総合福祉保健センター使用料

行政サービス

Q 総合福祉保健センターの施設使用料は4年前に有料化されたが、利用団体の活動を支援するため戻しては？

A 一定の利用者負担にご理解を

市の施設使用料減免制度の見直しにより登録団体の構成員を対象とした総会や会議などでの利用は半額のご負担をお願いするようになりましたが、全市民を対象とした使用はこれまで同様、利用者負担なしとしています。(健康福祉部長)

他の質問 福祉バス／対中町水害／市花さつき／救急車／ゴミ／市民病院駐車場／クールピス



酒井 一憲議員
(自由民主党)

説明 赤ちゃんの駅：乳幼児連れの保護者が人目を気にせず自由に授乳やおむつ替えが行えるスペースの愛称。

説明 乳幼児等医療の通院助成制度：子どもの医療費(通院・入院)を助成する制度です。(健康保険加入が必要)三田市では0歳から小学6年生までの通院と、0歳から中学3年生までの入院が助成の対象です。

ストップ！戸籍等の不正取得

人権

Q 戸籍等の不正取得防止の取り組みや本人通知制度の導入について市の対応は？

A 利用目的などのチェックを徹底

戸籍謄本等の不正取得事件は重大な人権侵害であるにとらえ、職務上請求用紙の記入内容について請求対象者と依頼者との関係や利用目的などのチェックを徹底しています。登録型の本人通知制度は阪神地域における議論はすすんでいますが、引き続き研究します。(まちづくり部長)

他の質問 東日本大震災への職員派遣



坂本 三郎議員
(無党派)

県道黒石三田線の道路拡幅予定は？

都市整備

Q 県道黒石三田線が溝口地内(JR相野駅と広野駅の間)で部分的に狭くなっているが、今後の工事予定は？

A 平成25年度完成予定

県道黒石三田線溝口地内の延長約260mが未改良のまま残っており、車両のすれちがいなどに支障をきたしています。拡幅工事の事業主体である兵庫県阪神北県民局によると、今後用地買収をすすめ平成25年度の完成を目標に取り組まれております。(市長)

他の質問 日本の伝統的精神の継承／休日応急診療センター／中学校体育における武道



北本 節代議員
(真正会)

自転車を快適に利用したい

都市整備

Q 自転車が街の階段を快適に上り下りできるようにしては？サイクリングマップ作成や三田駅前など各駅にレンタサイクルを設置しては？

A 利用頻度の高いところから検討

ニュータウンは高台にあるため坂が多く自転車歩行者道の一部が階段構造になっているところがあります。改善策として斜路の設置等、安全の確保を研究しながら利用頻度の高いところから検討します。(都市整備部長)

サイクリングマップは利用者の安全面などに配慮し検討します。レンタサイクルは過去に民間企業が三田駅前で実施していましたが、利用が低調であった経緯から新規の設置はむずかしいと考えます。(経済環境部長)

他の質問 避難施設等の安全対策／放射線量計／自主防災組織



肥後 淳三議員
(新政みらい)

被災者支援システムの導入を

防災

Q 阪神淡路大震災時に西宮市が開発し、全国で導入があいつぐ、り災証明書発行、支援金、義援金交付等の事務機能を持つ「被災者支援システム」の導入が有益では？

A 考察の上、システム環境を整備

三田市においても水害や土砂災害、有馬高槻断層や山崎断層による地震の最大限の被害を想定したシステム環境の整備が必要だと考えます。「被災者支援システム」の十分な考察を行い本市に適したシステムの導入に向け環境を整備し、できれば、台風シーズン前の導入をめざしたいと思います。(市長)

他の質問 学校施設の防災機能／事業継続計画(BCP)



松岡 信生議員
(公明党)

被災地へのボランティアバスに市の支援を

復興支援

Q 社会福祉協議会のボランティアバスの財源と今後の運行予定は？市の一般財源からバスの運行を支援しては？

A 市と社会福祉協議会で協議の上、支援

5月出発のボランティアバス第1号の経費約120万円には三田市社会福祉協議会が積み立てている「災害等援助活動事業費」が使われ、6月出発の第2号の経費約65万円には4月から募集した「ボランティア支援金」が使われる予定です。(健康福祉部長)

ボランティアの待機登録をされている市民も多くいることから、市としても社会福祉協議会と協議の上、支援します。(市長)

他の質問 消防の広報活動／市議会ホームページ／観光大使



笠谷 圭司議員
(自由民主党)

『花のまち』三田を全国に発信!!

文化

Q 5月に開催した「全国花のまちづくり三田大会」の評価と今後の展開

A 三田の魅力のアピール

5月27・28日の開催で、約2000人の参加があり、郷の音ホールでの催しや現地見学会など、三田のまちを楽しんでいただき、三田の魅力のアピールできたと考えます。この大会を契機に、今後は市民との協働のもと、「三田まちなみガーデンショー」や「まちなか花ざかり事業」など既存事業の推進と美しい花のまちづくりをさらにすすめます。(市長)

他の質問 災害時の情報伝達／医療費削減



田中 一良議員
(新政みらい)

